

岩手県宮古市愛宕方言における 身体感覚を表すオノマトペ

大西拓一郎

はじめに

1. 調査対象地点：岩手県宮古市

位置：三陸海岸のほぼ中央部に位置し、海に面する。

生業：地域の主要産業は水産業。ただし、話者は元宮古水産高校教員

交通：盛岡に通じるJR山田線と第三セクターの三陸鉄道北リアス線とが走っている。

人口：市全体では約6万人、愛宕地区は約一千人。

戸数：市全体では約1万8千世帯、愛宕地区は約二百世帯。

2. 調査日時：1991年9月17日

3. 話者：鈴木諒一 (m) 生年月日：1919年(大正8年)5月3日

4. 調査者・調査場所：大西拓一郎・宮古市図書館

5. 調査の方法・調査時の様子：面接調査、同席者なし。

I 全身の感覚

1-1. 快不快感

さっぱり

○ (風呂に入って) ザッパリシター

1-2. 寒さ

がたがた

○ サムクテガタガタシター

ふるふる

○ サムクテキョウアー (寒くて今日は) ブルブルター

ぞくぞく

○ (風邪をひきそうで) ザウザウシター

<ゾクゾクは期待を持って何かを待つ時に感ずる気持>

すうすう

○ (薄着をしていて) セチカガ (背中が) スースースルター

1-3. 熱さ

ぽかぽか

○ (ひなたぼっこをして) ポカポカシター

<酒を飲んだ時の感覚にポカポカは使わない>

II 皮膚の感覚

ひりひり

○ (日焼けして) ヒリヒリスル

(日焼けしたところに服があたって) サラサラスル (痛み)

- べたべた ○アセガ(汗が) ベタベタステス
アセガ(汗が) ネットリシタ
- むずむず ○(背中にごみが入って) モゾモゾスル
<エンズイが普通>
カイクテ(痒くて) ムズムズスル
- かさかさ ○(乾燥して皮膚が) ワサカサスル
- すべすべ ○(温泉につかって) スベスベシタ
- ひりひり ○(切り傷の傷口が) キリキリイタム
スツクツツテ(擦りむいて) ヒリヒリイテ
(火傷して) ヒリヒリスル
- ずきんずきん ○(はれ物が) ズキンズキン イテ

III 頭部の感覚

3-1. 頭

- がんがん(頭痛) ○アタマガ(頭が) ガンガンスル ネットガアンダベチー
(熱があるんだろうなあ)
- くらくら(眩暈・二日酔い) ○アタマガ(頭が) クラクラスル
- かっか(怒り) ○カッカシテキタ
- ぼっ(考え事) ○チニ(何を) ボットシテッカ
- ぼーっ(同上) ○チニ(何を) ボーットシテッカ

3-2. 顔面

3-3. 目

- ちかちか ○(目が疲れて) マチグガ(目が) ツラツラスッテパー
- しょぼしょぼ ○(煙が目に入って) チカチカシテキッターテパー
- ごろごろ ○(目にごみが入って) メガゴロゴロスル
(同上) メガチカチカスル

3-4. 耳

- きーん ○(大きな音を聞いて) ミミガキーン トスル
- ごろごろ ○(耳にごみが入って) ゴロゴロスル
- じくじく ○(耳に炎症を起こして) ジクジクスル

3-5. 鼻

- むずむず ○(くしゃみが出そうで) ムズムズシテキタ
- ぐじゅぐじゅ ○(風邪をひいて) グジョグジョシテキタ

つーん

- (わさびを食べて) ハナガジーントスル
○ (同上) ハナガキリキリスル

3-6. 口

3-6-1. 口全体

ねちゃねちゃ

- (餅を食べると) クチガネチャネチャスル

3-6-2. 歯

がちがち

- (寒さに震えて歯が) ガタガタナル (鳴る)

ずきずき

- (虫歯で歯が) ズキズキスル

ちくちく

- (虫歯を抜くと) チクチクツツスル

3-6-3. 舌

ひりひり

- (辛いものを食べて) シタガヒリヒリスル

びりびり

- (同上) シタガビリビリスル

3-7. 喉

からから

- (喉が渴いて) ノ下ガカラカラスル

ぜーぜー

- (喉を痛めて) アドガゼーゼースル

ひゅーひゅー

- (同上、喉が) ヒューヒューオトガスル

IV 胴体の感覚

4-1. 肩

こりこり

- (肩が凝って) ゴリゴリスツカラムンテクレ (揉んでくれ)

ごりごり

- (揉んでみると筋肉が固くて) ゴリゴリスル

4-2. 胸

どきどき

- タマゲタ 下キドキシタ <ムネガ (胸が) とは付けない>

どっきん

- (驚いて) ドッキントシタ

どっきんどっきん

- (心臓が悪くて) ドッキンドッキンシテル

むかむか

- (吐き気がして) ムガムカシテキタ

4-3. 腹

4-3-1. 空腹

ぐうぐう

- (空腹で) ハラガダークーシテル

4-3-2. 満腹

たふたふ

- (水を飲み過ぎて) ハラガフカブカシタ

4-3-3. 腹下し

きゅー

- (腹痛で) キューツトイデー (痛い)

- (酒を) キューツトイッパイ (一杯) ヤル (呑む)

- びーびー ○ (腹を下して) ハ^ラガ^ビリ^ビリ^スル
- ごろごろ ○ (腹痛で) ハ^ラガ^ゴロ^ゴロ^スル
- 4-4. 胃
- しくしく ○ (胃痛で少しずつ) シ^クシ^クス^ル
- きりきり ○ (胃痛で急激に) イ^ガキ^リキ^リシ^タ
- 4-5. 尻
- むずむず ○ (居心地が悪くて) シ^リガ^ムズ^ムズ^スル
- V 手足の感覚
- 5-1. 手
- ふるふる ○ (寒さで手が) フ^ルフ^ルシ^テキ^タ
- 5-2. 足
- がくがく ○ (歩き過ぎて脚が) ガ^クガ^クシ^テキ^タ
- 5-3. その他
- ぬるぬる ○ (こんにゃくが手について) ヌ^タヌ^タス^ル
- VI 関節(骨)の感覚
- ごきごき ○ (寝違えて) ゴ^キゴ^キス^ル
- ずきんずきん ○ (骨折して) ズ^キンズ^キンヤ^ンダ (病んだ)
- ぼっきり ○ (骨が折れて) ボ^ッキ^リイ^クベ^ーガ
- VII その他
- ぬっぺり ○ (机に) ヌ^ッペ^リヌ^レ (塗れ) <平坦に>

注) オノマトベにあたる部分は下線を引いた。上線はアクセント。音声は共通語に対応させた。

(おおにしたくいちろう 国立国語研究所)